

## 保護者アンケート結果一覧

	評価の観点	A	B	C	D	E	計	A+B	R6 後期	増減
1	学校は、教育方針や教育活動の様子を分かりやすく伝えている。	53	61	1	0	6	121	99%	99%	→
2	学校は、読み書き計算など基礎基本の定着に取り組んでいる。	60	54	2	0	5	121	98%	98%	→
3	子どもたちは、学習やその他の活動に意欲的に取り組んでいる。	46	67	6	0	2	121	95%	97%	→
4	学校は、不審者対応や交通安全指導など安全管理への対応をとっている。	57	55	2	0	7	121	98%	95%	↗
5	学校は、子どもの体力向上に取り組んでいる。	41	61	8	0	11	121	93%	100%	↓
6	学校は、いじめなどの問題に適切に指導・対応している。	42	54	6	1	18	121	93%	97%	↘
7	学校は、思いやり豊かな心を育む活動や教育を行っている。	51	57	6	0	7	121	95%	99%	↘
8	学校は、本をたくさん読むように読書指導を行っている。	63	49	4	0	5	121	97%	99%	→
9	学校は、食育や歯磨きなど健康について具体的な指導を行っている。	53	55	4	0	9	121	96%	93%	↗
10	学校は、地域の自然・人材・文化などを調べたり体験したりする学習活動を行っている（ふるさと七尾SDGs教育を推進している）。	49	57	3	0	12	121	97%	98%	→
11	家庭では、お子様との間でルールを決めている（家庭学習 テレビ インターネット ゲーム その他）。	21	60	33	6	1	121	68%	71%	↘
12	家庭では、規則正しい生活が送れるよう子どもに声かけをしている。	33	76	11	0	1	121	91%	91%	→
13	家庭では、家族同士のあいさつを心掛けている。	58	55	5	2	1	121	94%	96%	→

A：できている

B：だいたいできている

C：あまりできていない

D：できていない

E：わからない

※ 矢印は、肯定的回答（A+B）の増減を表しています。



5ポイント以上 上昇



3～5ポイント上昇



同程度



5ポイント以上 下降



3～5ポイント下降

## 主な質問項目ごとの考察と今後の取組

### ＜質問項目 4＞

5月に行った交通安全教室と、その様子を学校だより学年だよりでお知らせしたことが肯定的評価につながったと考えております。

### ＜質問項目 5＞

1学期には保護者の皆様が参観・参加できるような体育的な行事がないため、C・E評価が増えたのではないかと考えます。また7月に入り、水泳の授業が、熱中症警戒アラートが発表されて中止になることが続き、これも否定的な評価につながったものと受け止めております。どのような基準でプールでの授業の有無を決定しているかをしっかりと保護者の皆様に知らせ、理解が得られるようにしていきます。

### ＜質問項目 6＞

質問項目6はE評価が全質問項目の中で最も高いです。保護者にとって関心の高い項目である反面、学校での取組が見えにくいものと思います。児童相互のトラブルについてはどうしても事後的な対応・連絡が中心となってしまうため、当該児童の保護者の方以外は評価をしにくいと思います。学校における予防的な未然防止の取組についても、今後保護者の皆様にお知らせしていきたいと考えております。

### ＜質問項目 7＞

今年度も道徳だよりを発行することで、学校での取組を保護者の皆様に周知してきました。今後も継続していきたいです。

### ＜質問項目 9＞

歯科衛生指導で、ご家庭での染め出し・ブラッシングを行ったことが、肯定的評価上昇の要因の一つになったと考えております。家庭と連携して親子で取り組む保健指導を、年間を通じて定期的に行っていくことが、さらに効果的な保健指導につながると考え、今後検討していきます。

### ＜質問項目 5 質問項目 6 質問項目 10＞

これらの質問項目はR6年度後期から引き続き「E：わからない」の回答が10名を超えています。学校においてどのような指導をしているのか保護者の皆様には見えにくいため、本アンケートの評価もはばかれるものと思われます。上記しました通り、おたより等を通して学校の取組が今以上に伝わりますよう対処していきます。

### ＜質問項目 11 質問項目 12＞

家庭内のルールに関して肯定的評価(質問項目11)の割合は68%であり、今回に限らず低い評価が続いています。質問項目11はA評価が全質問項目の中で最も少なく、質問項目12は次に少ない状況です。家庭内でルールはあるのだが守れていないといった記述回答も複数件ありました。学校としましても、規則正しい生活を送ることの大切さを折に触れて指導していきたいと思います。ご家庭におかれましても引き続き、家庭でのルールづくり、声かけ等を通して、規則正しい生活ができるよう、ご協力お願いいたします。

## 保護者アンケートの記述欄について

保護者アンケートの記述欄におきましては、学校運営や各職員に関して、お褒めの言葉や励ましの言葉を種々いただきました。ありがとうございます。また、アンケートの寄せられた学校への質問・要望等につきまして、以下に回答させていただきます。保護者の皆様にはご迷惑・ご不便をおかけすることもございますが、ご理解の程、何卒お願い申し上げます。

Q. 夏休みのプールが無くなったのが残念です。私も東湊小学校卒業生ですが、プールが毎日の楽しみでした。復活すると子供達も喜ぶかと思います。

A. 近年の猛暑で、特に7月8月は熱中症警戒アラートが今年は35回発表されました。熱中症警戒アラートとは、暑さ指数(気温、湿度、日射から算出)から熱中症の危険性が極めて高い日に発表されるもので、日本スポーツ協会は「暑さ指数が31以上で原則運動は中止すべき」と訴えております。本校でもこれに倣って、暑さ指数を自校で測定し、31以上の場合は体育の授業の運動を控えてきました。夏休みのプール開放も同様に暑さ指数31以上となると実施は難しく、ここ数年は暑さのためプール開放ができない日が多くありました。こうした状況から、七尾市の全ての小学校で、夏休みのプール開放はしないという対応となりました。児童の安全管理の観点から何卒ご理解いただけたらと思います。

Q. 暑さで運動するのは危険というのは理解できるが、体力低下に繋がるのでは。1限目に他学年合同で水泳の授業などはできないのか。

A. 猛暑のため暑さ指数が31を超えると運動の実施は難しいのですが、ご指摘の通り1限目の時間帯は本校で測定するとやや低い値となることが多く、運動が実施しやすい時間帯です。次年度以降、水泳の時期の時間割を編成する際には、水泳の授業ができるだけ1限目に実施できるよう検討していきたいと思っております。

Q. 週末に持ち帰る物、週明けに持ってく物を分散してほしい。例えば、木曜に持ち帰る物、火曜に持っていく物などに分けてはどうか。子どもは毎日水筒も持っていき、時期によっては水着セットや絵の具セット、習字セットなど荷物が多すぎる。分散して負担を減らしてほしい。

A. ご指摘ありがとうございます。確かに分散できる物があれば子どもの登下校時の荷物を持つ負担が軽減されると思います。絵の具セットや習字セット等につきましては、時間割を確認しながら、荷物の多い日の持参・持ち帰りをできるだけ避けるようにしていきます。ただ、月曜から金曜まで毎日使うような「給食に関わるもの」「掃除に関わるもの」「児童の健康・衛生に関わるもの」につきましては、どうしても週末・週明けとなってしまいます。分散できるものは配慮していきたいと思っておりますが、ご理解ご了承のほどよろしくお願いします。

Q. 日頃より大変お世話になり、ありがとうございます。猛暑の中での登下校に、アイシングできる物を持たせても良いのでしょうか？その場合、下校まで保冷できるようなバッグなど持たせても良いのでしょうか？特に下校時は本当に心配です。

A. 猛暑の中での登下校のご心配はごもっともと存じます。今年は残暑も厳しいとの3ヶ月予報もありました。暑さが落ち着くまで、そのようにご対応いただいて構いません。その場合、お手数ですが、持ち物に記名等よろしくお願いします。

Q. いつも友達と下校していると本人から聞いています。以前、熊のお知らせがありましたので、なるべく複数人で下校するように学校からお話していただくことは可能でしょうか？

A. 児童の安全な下校のため、下校時刻を定め、放課後は特別な事情がない限り学校に残さないようにしています。同じ時刻で同じ方面同士の児童と一緒に帰るよう、折に触れて声かけをしていきます。ご指摘ありがとうございます。